



日本甲虫学会 Coleopterological Society of Japan

HP : <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/coleopterology>

Twitter : ハッシュタグ #甲虫学会

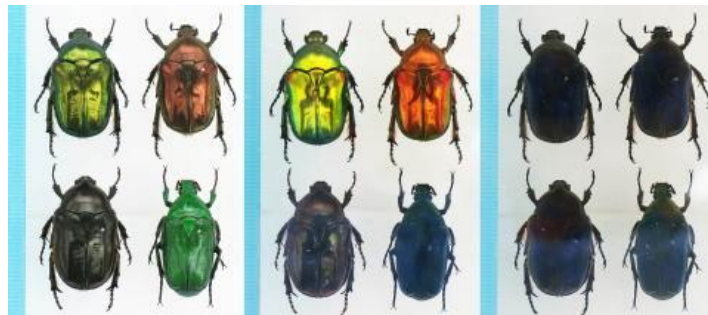
<https://twitter.com/hashtag/%E7%94%B2%E8%99%AB%E5%AD%A6%E4%BC%9A>

コレステリック甲虫

日本甲虫学会 会長 野村周平

甲虫学会会員の皆さん、明けましておめでとうございます。新年が皆様とご家族にとって、最良の年となるよう願っております。おそれながら私の方は、当学会第4期（2017-2018）の会長を仰せつかることになりました。昨年、一昨年に引き続きまして、お引き立ていただきますよう、心からお願い申し上げます。

前回のあいさつで取り上げた、東京港野鳥公園で発生しているリュウキュウツヤハナムグリについて、さらに面白いことがわかりました。挨拶文にのせるための写真を撮影していたところ、この種が非常に顕著な「コレステリック甲虫」であることがわかったのです。コガネムシの中には特異な偏光特性をそなえているものがあります。これは右と左の円偏光フィルターをかけて比較してみるとたちどころにわかります。自然光の下では、リュウキュウツヤハナムグリの3つの色彩型とアオカナブン、**図左**のように見えます。左円偏光フィルターをかけてみると、リュウキュウツヤハナムグリの上の2型は、色彩が強調されて見えます。一方アオカナブンは真っ黒に見えます（**図中**）。これを同じ条件で右円偏光フィルターに取り換えてみると、何ということか！リュウキュウツヤハナムグリの3型はどれも真っ黒に見えてしまって、まるで見分けが付きません（**図右**）。アオカナブンの方は左と同じ真っ黒です。リュウキュウツヤハナムグリのように、円偏光フィルターの右と左で違う見え方をするものは、身体の表面に「コレステリック液晶」と呼ばれる物質をそなえていて、特定の向きの偏光だけを反射する特性があります。これを仮に「コレステリック昆虫」と呼びましょう。一方、アオカナブンのように、偏光フィルターの右と左で見え方が変わらないものは、「非コレステリック昆虫」ということになります。同じハナムグリの仲間でありながら、ここまで偏光特性の異なる例はきわめて興味深いものです。



リュウキュウツヤハナムグリの3型とアオカナブン（右下）の色彩比較。

左：自然光；中：円偏光フィルター左をかけて撮影；右：円偏光フィルター右をかけて撮影

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/introduction/introduction.html>（本文1月4日アップ）

さやばね NS 24 号が発行されました

■解説 保科英人：日本産ヒゲブトチビシデムシ類要説 (IV) / ■論文 日光から記載されたキクチクロコメツキについて / オオダイセマダラコガネの京都府における採集記録とその分布 / 奈良県伯母峰峠で発見されたイタヒゲヒメコメツキダマシ / 福井県におけるサメハダマルケシゲンゴロウの記録と生息地保全に向けた対応 / カバノキ科ハンノキ属を寄主とするシギゾウムシとその利用部位 / コガネムシ上科における後翅前縁微細構造の形態比較 / “フェリーとしま” の船上で採集された植食性甲虫 9 種の記 / 石川県におけるマルケシゲンゴロウ属の分布 / その他、短報、高桑正敏博士追悼記事 / 書評・論文紹介 / お知らせ・会務報告など

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/publication/sayabane/sayabane24.pdf>

春季の地域例会

■名古屋 2/26 (日) 日本産アタマクチカクシゾウムシ属について / 地域分化したクチブトゾウムシ類 / 鈴鹿山脈の甲虫調査の結果 ■東京 3/4 (土) 日本産ベニボタル科甲虫研究の課題 (東京) ■大阪 3/25 (土) 日本産ゴミムシダマシについて

地域例会のページ：<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/event.html>

新里達也博士還暦記念事業

1. 新里達也博士還暦記念論文集の刊行 (Special Publication of the Coleopterological Society of Japan. として発行) 原稿締切 2017 年 5 月末日 / 発行予定 2017 年 9 月
2. 論文集刊行記念祝賀会 日程未定 (東京都内)

くわしくは下記サイトをご参照ください。

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/dr-niisato-kanreki.html>

【振替用紙は「さやばね」次号で同封】

会費納入をお願いします

新年度会費振込用紙を「さやばね」に同封できず申し訳ありません。次号には必ず同封いたします。郵便局に置いてある振替用紙もご利用可能ですので、早めに入金いただけますと幸いです。お名前、ご住所ともに会員番号をお書き添えください。

- (1) 正会員 8,000 円 (ただし日本国外に在住する会員は 10,000 円)
- (2) 学生会員 5,000 円
- (3) 団体会員 10,000 円
- (4) 賛助会員 1 口 20,000 円

[郵便振替口座] 口座名：日本甲虫学会 口座記号番号：00880-2- 190472

日本甲虫学会 ニュースレター 第 9 号

2017 年 2 月 7 日発行 ※本ニュースレターは主に HP の更新履歴に基づき、プレーンテキストにてご希望の方に不定期でメール配信します。お申込は下記サイトからどうぞ。過去の更新履歴も、PDF でご覧いただけます。配信停止ご希望の方はご連絡ください

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/newsletter/newsletter.html>

(web 担当：初宿 shiyake@mus-nh.city.osaka.jp)

※2016 大阪大会参加の方にもお送りしています。受取不要やアドレス変更は担当まで。